

報道発表

令和3年12月20日
名古屋税関
豊橋税関支署



令和3年11月分 三河港 貿易概況（速報）の要旨

令和3年11月分について、輸出は「金属鉱及びくず」などが減少したものの、「自動車」、「鉄鋼」などが増加したことから対前年同月比7.2%の増加となった。また、輸入は「航空機類」などが減少したものの、「自動車」、「鉄鋼」などが増加したことから、同5.2%の増加となった。

その結果、差引額は1,908億円（同7.8%の増加）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
三河港	2,449億円	+7.2%	541億円	+5.2%	1,908億円	+7.8%
	4カ月ぶりの増加		3カ月ぶりの増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	2,331億円	+5.8%	輸入	増加品目	(1) 自動車	456億円	+3.7%
		(2) 鉄鋼	48億円	+205.9%			(2) 鉄鋼	30億円	+29.8%
		(3) その他の化学製品	28億円	+31.1%			(3) 有機化合物	5億円	+341.8%
	減少品目	(1) 金属鉱及びくず	5億円	▲51.0%		減少品目	(1) 航空機類	6億円	▲63.7%
		(2) 自動車の部分品	2億円	▲49.5%			(2) 原動機	1億円	▲67.7%
		(3) 非金属鉱物製品	—	全減			(3) とうもろこし	—	全減
地域別動向		北米、中南米が増加、アジアは減少					西欧、アジアが増加、中東欧・ロシア等は減少		

（参考）ドルレートは、113.95円（前年同月比8.9%、9.27円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。